

**2025 年度事業報告書**  
(2025 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日まで)

核医学診療推進国民会議

1 事業実施の概要

2025 年度は、事業計画書をもとに広報活動を中心に活動した。会報誌は vol.10 を発行した。

【主な対象分野】

PRRT(神経内分泌腫瘍の治療)  
放射性ヨウ素内用療法(甲状腺がん治療)  
塩化ラジウム(前立腺がん治療)  
PSMA(前立腺がん治療)  
アルツハイマー病 PET 診断

2 事業の実施に関する事項

(1) 患者のアンメットニーズの調査・把握に関する活動

今年度は活動を行っていない。

(2) 政策提言に関する活動

厚生労働省への提言書(または要望書)「核医学診療、特に核医学治療の国内整備に関わる要望書」を厚生労働省の福岡資麿大臣に提出した。

(3) 啓発・広報活動

企画委員会にて下記のプロジェクトを進めた。

① 会報誌の発行

会員への情報提供のため、2025 年 9 月に会報誌「ホップ・ステップ・かくいがく」 vol.10」を発行し、全会員へ郵送した。

② 核医学治療 Q&A の改訂

ライアットの適応症の追加承認およびプルヴィクト・ロカメッツ・ガリアファーム製造販売承認に伴う記載の追加、不要な Q&A の削除など更新作業を行い、第 3 版を発行した。

③ 新冊子「放射性医薬品が届くまで」の作成

放射性医薬品の供給について紹介する新たな冊子の作成を進めた。2026 年 2 月に Web サイトに掲載する予定である。

④ メディア勉強会の開催の検討

今後の世論形成の礎とする目的でメディア向けの勉強会開催に向け検討を進めた。

(4) 核医学診療推進コミュニティの形成活動

① 会員登録の促進、意見の収集

患者側からの参画を促すために、「皆さんの「声」投稿ページ」をホームページ内に作成し、意見の募集を継続している。

会員種別	2025年12月31日時点	2024年12月31日時点(参考)
正会員	56名	67名
一般会員	272名	262名
特別賛助会員	4社	4社
賛助会員	5社	6社

(5) その他

① ホームページ・会員の運営管理

ホームページの運営(最新情報のアップ、古い情報の削除、保守作業)を行った。

会員管理(会員情報の管理、会費の徴収等)については、株式会社国際文献社に委託し管理を行っている。

② 理事会・会員総会の開催

【理事会】

第1回:2025年2月7日~18日にメール理事会を開催した。2025年度の事業計画・予算が承認された。

第2回:2025年4月14日~21日にメール理事会を開催した。2024年度の決算・事業報告が承認された。

第3回:2025年5月23日~29日にメール理事会を開催した。核医学診療推進国民会議のHP、ニュース欄に、ライアットの神経芽腫が公知申請をすることが認められ、保険適用となる記事を掲載することが承認された。

第4回:2025年8月13~18日にメール理事会を開催した。会報誌「ホップ・ステップ・かくいなく♪ vol.10」を発行することが承認された。

第5回:2025年9月24~26日にメール理事会を開催した。核医学診療推進国民会議のHP、ニュース欄に、4つの放射性医薬品が承認された記事を掲載することが承認された。

臨時:2025年11月15日(土)に日本核医学会学術総会期間中に対面開催したが、出席者が過半数に達しなかったため、不成立となった。そのため、2025年12月1日~5日までメール臨時理事会を開催し、HPでのニュース発信手順の改定、旅費・経費精算細則の改定、役員の任期、メディア勉強会の開催方式、2025年度第2回会員総会を電子媒体(ホームページ)で開催することが承認された。

第6回:2025年11月21日~27日にメール理事会を開催した。核医学診療推進国民会議のHP、ニュース欄に、プルヴィクトなどが保険診療できるようになった記事を掲載することが承認された。

第7回:2025年12月17日~23日にメール理事会を開催した。2025年度事業計画及び予算内容の確認、会員総会のホームページ案が承認された。

【会員総会】

第1回:2025年2月20日～26日に会員総会を開催した。2025年度の事業計画書及び予算書\*が報告された。

\*当該事項は2024年度に報告されるはずであったが、審議事項の調整に時間を要したことにより、今年度の開催となった。

第2回:2025年12月24日～30日に会員総会を開催した。2026年度～2027年度の役員が選任され、2026年度の事業計画書及び予算書が報告された。

以上